

学校だより



令和3年2月1日
尼崎市立園田小学校
校長 柳一光

2月は逃げる、3月は去ると言われるように、これからの2か月はあっという間に過ぎていきます。6年生が小学校へ登校する日は卒業式を含めても残り33日、他の学年は37日になります。学校行事も新1年生向けの入学説明会や児童会役員選挙等、来年度に向けての活動であわただしい雰囲気にはなってきましたが、足元の一日一日の学校生活を充実させ、子ども達が学年のまとめとして大成するよう、職員一同気を引き締めて取り組んでいきます。

気になる言葉

「いやや。」という言葉について思うことがあります。自分が嫌だと思うことについて、はっきりと意思表示をするのは、大切な事ですし言えた方がいいのは当然です。気になるのは、口癖のように言ってしまう場合と、考えることを放棄してしまっている場合に使われることがあることです。例えば「教室が汚れているから、今から掃除しよう。」と言われた場面で「いやや。」と答える場合を考えてみます。「いやや。」はたった三文字なので否定の意志以外の情報がありません。ただ単に掃除が嫌いなのか、今掃除する時間ではないからなのか、体調が悪いからなのか、その理由がわからないのです。

「いやや。」の理由を説明することなく、ただ単に口癖のように使っている場合は、自分の成長にとって必ず必要なことに対しても「いやや。」と考えることなく、反射的に答えてしまいがちです。理由を聞くと、ほぼほぼ「めんどくさい。」という言葉とセットになっています。考えることなく、簡単にそう答えてしまうのです。

自分の気持ちにしっかり向き合って、言葉で丁寧に相手に伝えていくことは、人が成長していく上でとても大切です。落ち着いて考えると今はいやだけど将来のためにがんばろうと思えるかもしれません。「いやや。」「めんどくさい。」が増えてきたら、しっかり丁寧に子どもを見ていく必要があると感じています。

124年ぶりに

今年の節分は、124年ぶりに2月2日になるそうです。節分は漢字の通り季節の分け目で、季節の始まりの立春・立夏・立秋・立冬の前日のことで、特に春の訪れの立春の前の節分が有名です。昔から、寒く長い冬を耐えてようやく春の気配が感じられるようなのが、四季の中でも格別の喜びだったのではないのでしょうか。



今年の節分は124年前の人々に思いを寄せながら、豆まきをするのもいいですね。

2月の行事予定

| 日 | 曜 | 行 事 予 定 |
|----|---|---------------------|
| 2 | 火 | 朝会 |
| 3 | 水 | 短縮時間割 15:00 下校 |
| 9 | 火 | 音読朝会 短縮時間割 15:00 下校 |
| 10 | 水 | 入学説明会 |
| 11 | 木 | 【祝日】建国記念日 |
| 15 | 月 | クラブ活動(最終) |
| 16 | 火 | 集会 児童会役員選挙 |
| 23 | 火 | 【祝日】天皇誕生日 |
| 25 | 木 | 参観・懇談 A (5・6校時) |
| 26 | 金 | 参観・懇談 B (5・6校時) |

《3月の予定》

| | | |
|----------------------|----------|-----------------------|
| 1日(月) 委員会 | 6年生をおくる会 | 9日(火) 音読朝会 |
| 2日(火) 朝会 | | 10日(水) 短縮時間割 15:00 下校 |
| 3日(水) 短縮時間割 15:00 下校 | | 17日(水) 給食終了 |
| 4日(木) 6年生を送る会(予) | | 19日(金) 卒業式 |
| | | 25日(木) 修了式 |

【参観・懇談について】

25日・26日5・6校時の参観・懇談は、1学期の参観・懇談のように、各クラス2つのグループに分けて実施する予定です。詳細につきましては、後日、担任の方からプリントを配布します。ただ、今後の感染状況から急な変更もあり得ます。その際は、ミマモルメ等でお知らせします。また、マスク等の感染予防対策をした上でお越し頂き、**校舎内における私語等**はご遠慮下さい。ご協力よろしくお願ひします。

【新型コロナウイルス感染対策】

2月7日まで兵庫県にも緊急事態宣言が出されています。本市においても新型コロナウイルス感染者が増加しています。感染予防対策の徹底をお願いします。①手洗い、咳エチケット等の徹底、②「3つの密」の回避(密閉・密集・密接)③人と人との距離をとる(身体的距離の確保)④感染状況に応じた不要不急の外出の自粛 等に気をつけてお過ごし下さい。また、登校前には、必ず健康観察をしていただき、少しでも体調不良がある場合は無理をさせず自宅で待機させて下さい。ご協力よろしくお願ひ致します。

本校が6年間取り組んできた音読活動も今年は縮小せざるをえませんでした。全校音読は一度も実施できませんでしたが、毎月の音読朝会はTVの視聴という形で行っています。「継続する」ということが実力をつける何よりも大切なこと。これを子どもたちに実感してもらいたいという願ひもこめて続けています。今年は6年生に「金子みすゞ」の詩や言葉遊びの音読を見本として実演してもらい、TVで流しています。音読というものはすぐには効果や向上が現れてはきません。ずっと続けていくことで知らぬうちに力がついていくというものなのです。6年生は「涵養」(＝ゆっくりと地面に水がしみこんでいくような)力を存分に発揮してくれています。

(研究主任：佐藤 隆史)